

# 2023年度 事業報告

公益財団法人 日本レクリエーション協会

## もくじ

2023年度事業総括	3
1. レクリエーション運動を担う人材の育成	4
(1) レクリエーション研修	
(2) 公認指導者養成	
(3) 課程認定校での公認指導者養成	
(4) 公認指導者の審査・登録	
2. 指導者の活動支援と地域組織支援	10
(1) 指導者の再教育	
(2) 情報提供	
(3) 活動支援及び拠点整備	
(4) 公認指導者資格の更新	
3. レクリエーションの普及・啓発	14
(1) 全国イベント・啓発	
(2) 生涯スポーツ推進及びその他レク普及	
4. スポーツ・レクリエーション用具・書籍の開発・普及	19
5. その他 法人事務	20
2023年度 都道府県別公認指導者数一覧	22

## 2023年度事業総括

2023年度は、レクリエーション運動を進める基本的な事業である人材育成と、その人材を活用したレク活動の普及事業及び都道府県のレク大会の拡充に取り組んだ。また、そうした事業を通して、加盟団体が普及する種目の普及・愛好者層の拡大にも取り組んだ。

人材の育成については、幅広い人たちに受講してもらうためのレク・サポーター等のプログラムを普及し、レク・サポーター441名(2022年度466名)、元気アップ・リーダー352名(同344名)が登録したが、全体的には4,293名(同4,730名)と2022年度に続き登録者が減少した。

公認指導者の養成数は、都道府県等での一般養成は533名(同375名)と前年を上回ったが、課程認定校での養成が前年より400名少ない2,314名に留まり、全体で2,847名(同3,099名)と3,000人を下回った。公認指導者の更新については、レク・インストラクターの更新は16,433名(同17,917名)の対象者に対し11,897名(同13,175名)、更新率は72.4%(同73.5%)となり、全資格の更新率も74.4%(同75.7%)となった。全体の公認指導者数は、昨年度より2,845名減少して40,530名(同43,375名)となった。

レク活動の普及、レク大会の拡充の具体策としては、引き続き「健康スポレクひろば普及推進事業」と「スポレク EXPO～健康スポーツ・フェスティバル」を、加盟種目団体との連携を推奨しながら進めた。健康スポレクひろばは、全国58地区で689回のプログラムを実施し11,380名が参加(同53地区・619回・15,000名)。スポレク EXPOも全国20会場で37回実施され、32,904名が参加した(同14会場・30回・16,000名)。全国レクリエーション大会については、コロナ禍以降2回目となる第77回大会を徳島県で開催し、天候にも恵まれ10,708名(同8,470名)が参加した。

都道府県協会の支援としては、18協会の若手人材育成支援、4協会の学校レク普及、5協会のホームページリニューアル・維持管理を行った。また、2022年度から続く中期計画策定に取り組む、各協会の現状把握に基づき、都道府県協会の基本的な役割となる5つの事業を強化するための「中期計画2024」をまとめ、共有することができた。

スポーツ・レクリエーション用具の普及については、規模的には前年度を1,400万円ほど下回り、収支も2,100万円に留まる結果となった。一方で、高齢者施設等で活用が見込まれる新しいプログラムとその用具の開発に取り組み、2024年度から普及に取り組むこととなった。

2023年度は、レクリエーションの普及・啓発という点では、健康スポレクひろばやスポレク EXPOの実施地域が拡大する等、事業が活性化した。その一方で、それが公認指導者数や用具等の普及に結びつきにくいことも改めて確認する機会となった。また、公認指導者の養成数と全体の指導者数の減少傾向は続いており、全体の収入は前年と比べ1,400万円程度の減少、指導者関連では2,100万円の減少となった。

こうした状況から、今後、将来的な予算規模に合わせた事業と事務局体制を再構築していくとともに、指導者数の確保を最重要課題として、都道府県協会と連携した人材育成と公認指導者の活動の活性化に、危機感を持って取り組む必要がある。

# 1. レクリエーション運動を担う人材の育成

## (1) レクリエーション研修

### ①レクリエーションカレッジ（修了証制度）の整備

様々なレクリエーション活動をテキストと動画で学ぶことができる仕組みを整備するため、教材制作を進めた。

- ・テキスト：ニチレク・スティック、フライングディスク、インディアカ、集団用とびなわ
- ・動画：「3. .レクリエーションの普及・啓発」の「(2) 健康スポーツを推進するためのコンテンツの制作・配信」参照

今後、これらのコンテンツを提供するプラットフォームを整備する。

### ②外国人介護職のためのレク・サポーター・プログラムの普及

外国人介護職を養成する専門学校でのモデル事業を基に、学習内容や受講した留学生からの評価を情報誌「レクルー」7月号の特集にまとめ、外国人を受け入れる教育機関、介護関連団体（約5,000カ所）に配布した。

### ③都道府県レクリエーション協会による普及研修の促進

#### (1)レクリエーション・サポーター研修

都道府県レク協会にて全国44の研修会を開催し、合計441名が登録した。

学校レク・サポーター：6件・45名／介護レク・サポーター：20件・200名／  
グループレク・サポーター：18件・196名

#### (2)元気アップ教室

元気アップ・リーダー養成（元気アップ教室）を14府県（青森県、福島県、東京都、富山県、愛知県、三重県、京都府、大阪府、奈良県、島根県、広島県、山口県、愛媛県、熊本県）にて27教室を開催。352名が元気アップ・リーダーの登録をした。

チャレンジ・ザ・ゲーム普及審判員・241名／リーダーゲッター普及員・26名／  
マンカラ普及員・85名

## (2) 公認指導者養成

### ①レクリエーション・インストラクター養成

#### (1)都道府県レクリエーション協会との協働養成

日本レク協会（教材作成、広報、受講申込受付、通信学習）と都道府県レク協会（5日間の集合学習、現場実習）が協働で行う講習会を12都道府県で実施し、136名が受講した。

#### (2)レク・インストラクター養成モデル講座

上記の協働養成の内容を基に、通信と集合学習を効果的に組み合わせることにより、3日間の集合学習で養成するモデル講座を5県（青森県、栃木県、富山県、福岡県、熊本県）で実施。42名が受講した。同時に、集合学習を行うにあたり指導案の提示及

び作成助言等を行い、当該県の講師育成も行った。

### (3)課程認定校等の教員を対象とした養成講座

新たに課程認定を検討・希望する学校の教員や、新たに課程を担当する教員のための養成講座（通信学習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ及びオンライン研修2日間）を実施し、8名が受講した。また、授業研究の機会として既に資格を持つ課程認定校教員が参加できる部分も設け、4名が参加した。

### (4)看護・介護学科等での養成講座・トライアル

課程認定校以外の看護・介護学科等において、レクリエーション科目に関わる公認指導者も少なくないことから、履修実績を資格取得の単位として認定し、不足分を通信学習とレポート課題で補う養成方法を朝霞地区看護専門学校で試み、実施概要を都道府県レク協会へ周知した。

## ②スポーツ・レクリエーション指導者養成

### (1)スポーツ・レクリエーション指導者養成モデル講座

通信学習（理論科目）を取り入れた新カリキュラムによる養成モデル講座を4協会（千葉県、愛知県、広島市、愛媛県）で実施し、42名が受講した。

実施方法を都道府県レク協会に周知し、養成講座の実施を促した。

### (2)課程認定校等の教員を対象とした養成講座

課程認定校での養成を促進するために、課程認定校教員（レク・インストラクター取得者）を対象とした補講講座（通信学習及びオンライン研修1日間）を実施し、13名が受講した。既に養成を行っている課程認定校・担当教員からの事例発表も行った。

## ③福祉レクリエーション・ワーカー養成

学籍期間中の受講者の学習を進めるため、コロナ禍以降困難となっている施設での現場指導実習の代替措置としているオンデマンド研修及びオンライン研修を行い、4名が資格を取得した。

## ④資格認定委員会の開催

資格認定委員会を3回開催し、公認指導者資格の審査および課程認定校の認定、学習内容や養成方法、今後の資格制度の在り方等についての検討を行った。

また、レク・コーディネーター及び福祉レク・ワーカーの養成カリキュラムについて、改訂に向けたワーキングを行い、養成方法の見直しも進めた。

### ○資格認定委員会委員（敬称略）

松尾 哲矢（委員長） 岡山 千賀子 小田原 一記 木村 貴子  
小池 和幸 永田 真一 吉田 伊津美

第1回：2023年10月24日（火）14:00～16:00 オンライン開催

第2回：2024年2月16日（金）13:00～15:00 〃

第3回：2025年3月26日（火）10:00～12:00 〃

### ○レク・コーディネーターカリキュラム検討ワーキング

第1回 2023年8月22日（火）15:00～17:00 オンライン開催

第2回 2023年12月21日（木）15:00～17:00 〃

### ○福祉レク・ワーカーカリキュラム検討ワーキング

第1回 2023年7月4日（火）15:00～17:00 オンライン開催

- 第2回 2023年8月23日(水) 10:00~12:00 //
- 第3回 2023年12月22日(金) 13:00~17:00 対面

### (3) 高等教育機関での公認指導者養成

#### ①課程認定校と養成課程数

「公認指導者養成制度」に基づき、大学、短期大学、専門学校の201校241課程を認定し、公認指導者の養成を行った。

○2023年度課程認定校 養成課程数

養成する資格種別	養成課程数
レクリエーション・インストラクター認定校	196
スポーツ・レクリエーション指導者	28
レクリエーション・コーディネーター認定校	7
福祉レクリエーション・ワーカー認定校	10
合計	241

#### ②高等教育機関での人材養成促進

##### (1)課程認定校教員・事務担当者オンライン・ミーティング

課程認定校とのコミュニケーションを図り、円滑に養成課程及び資格登録等の手続きをしていくために、オンラインによる教員・事務担当者とのミーティング・説明会を行った。

・2023年10月25日(水) 14:00~15:00

##### (2)保育士・幼稚園教諭養成校への課程認定校制度オンライン説明会

新たに課程認定校として養成課程の設置を検討する保育士・幼稚園教諭養成校を対象として、課程認定校制度についての説明会を2回実施した。

第1回目：2023年12月20日(水) 14:00~14:30

第2回目：2023年12月22日(金) 16:00~16:30

##### (3)新規認定校審査

2023年度は東京女子体育大学の新規養成課程設置に関する審査を実施した。

#### ③課程認定校研究連絡会議の運営

課程認定校の教育活動の充実と課程認定校相互の連携、都道府県レクリエーション協会との連携を図るために設置された課程認定校研究連絡会議の事務局業務を行った。

##### (1)総会・幹事会等

総会	2023年6月3日(土) オンライン	・令和4年度の会務報告(事業報告・決算報告)の確認 ・令和5年度の会務計画(事業計画・予算)の確認
第1回 幹事会	2023年6月3日(土) オンライン	1.総会資料・進行の確認およびリハーサル 2.ブロック別交流会について
第2回 幹事会	2023年9月16日(土) 会場：徳島文理大学	1.全国研究集会開催に向けての事前確認 2.各プロジェクトの進捗 3.各ブロック研修会の進捗

		4.幹事会参加のための旅費交通費補助について
第3回 幹事会	2023年11月14日(火) オンライン	1.各プロジェクトの進捗について 2.次年度の各プロジェクト活動方針について(意見交換) 3.次年度の役員候補について 4.各ブロック研修会の進捗について 5.次年度全国研究集会の開催形態について 6.次回幹事会(3/16~17)について
第4回 幹事会	2024年3月16日(土) ~17日(日) 国立オリンピック記念 青少年総合センター	1.令和5年度事業報告 2.令和5年度決算について 3.令和6年度事業計画 4.令和6年度予算について 5.令和7年度全国研究集会の開催形態について 6.総会について

(2)会議、研修事業等

全国研究集会	2023年9月16日(土) 会場:徳島文理大学	<プログラム> 13:00~開会式、13:10~研究発表、15:30~閉会式
北海道・東北 ブロック研修	2023年10月14日(土) ~15日(日) 会場:ねぶたの家ワ・ラッセ、三内丸山遺跡	青森の伝統文化を知る
関東・甲信越 ブロック研修	2023年10月21日(土) 会場:立教大学池袋キャンパス	自然や環境のために行動できる人 環境教育プログラムを体験する
	2024年3月1日(金) オンライン	レクリエーションに質的な研究から迫ろう
東海・北陸 ブロック研修	2023年12月17日(日) 会場:岐阜協立大学	1部:実技『レクの専門知識技能の活用』 2部:演習『課程認定校と地域協会との連携』
近畿 ブロック研修	2024年1月20日(土) 会場:神戸新開地「喜楽館」	「落語」から学ぶ笑いとコミュニケーション
中国・四国 ブロック研修	2023年11月16日(日) 会場:四国学院大学	モルック&バウンズボール体験
九州・沖縄 ブロック研修 ※中国・四国共催	2024年3月20日(水・祝) 会場:福岡県うきは市	全体テーマ:田舎ism2 書を捨てて里山へ出よう!(共催:九州レジャー・レクリエーション学会)
課程認定校支援	認定校の教育活動の充実を図るために、学校訪問支援助成(1校)、教育活動助成(10校)、学生レク助成(全レク参加/1校、レク研究/1校、レク部助成/1校<2022年度より継続>)を実施。	
レクリエーション教育モデル・コア・カリキュラム検討	レクリエーション教育モデル・コア・カリキュラムの策定に向けて検討を進め、基本的な考え方、カリキュラム構成、各カリキュラムの概要に基づき、リファレンスブックを制作・配布した。	
研究助成および自由時間研究検討	自由時間研究編集委員会を立ち上げ、研究助成事業の論文投稿の査読化を進めた	

(3)自由時間研究の発行

2022（令和4）年度の研究助成分9本の論文を研究紀要「Leisure&Recreation 自由時間研究」第48号に掲載・発行。J-STAGE（独立行政法人科学技術振興機構が運営する電子ジャーナルの無料公開システム）に登録した。

(4)助成研究事業

14件を採択（うち1本は申請取り下げ。自由時間研究 第49号に掲載予定）。

(5)日本レジャー・レクリエーション学会との事業連携

「レクリエーション教育モデル・コア・カリキュラム検討」を行い、成果物としてリファレンスブックを制作した。

(6)課程認定校研究連絡会議会務事務局業務：会計管理など諸事務を処理した。

## (4) 公認指導者の審査・登録

### ①レクリエーション・インストラクターの審査・認定登録

区分	審査期日・会場	登録者数
一般	各都道府県レクリエーション協会で開催	427名
課程認定校	各学校の学内審査により実施	2,074名
その他	課程認定校教員のための養成講習会／日本レク協会で開催	7名
合計		2,508名

参考：2022(令和4)年度

区分	審査期日・会場	登録者数
一般	各都道府県レクリエーション協会で開催	313名
課程認定校	各学校の学内審査により実施	2,414名
その他	課程認定校教員のための養成講習会／日本レク協会で開催	10名
合計		2,737名

### ②スポーツ・レクリエーション指導者の審査・認定登録

区分	審査期日・会場	登録者数
一般	県レクリエーション協会で開催	87名
課程認定校	各学校の学内審査により実施	202名
その他	課程認定校教員のための養成講習会／日本レク協会で開催	8名
合計		297名

参考：2022(令和4)年度

区分	審査期日・会場	登録者数
一般	日本レク協会と各都道府県レクリエーション協会で開催	50名
課程認定校	各学校の学内審査により実施	248名
合計		398名



③レクリエーション・コーディネーターの審査・認定登録

区分	審査会期日・会場	受験者数	合格者数	登録者数
一般	—	0名	0名	0名
一般合計		0名	0名	0名
課程認定校 (4校)	各学校の学内審査により実施	10名	10名	9名
合計				9名

参考：2022(令和4)年度

区分	審査会期日・会場	受験者数	合格者数	登録者数
一般	—	0名	0名	0名
一般合計		0名	0名	0名
課程認定校 (3校)	各学校の学内審査により実施	11名	11名	11名
合計				11名

④福祉レクリエーション・ワーカーの審査・認定登録

区分	審査会期日・会場	受験者数	合格者数	登録者数
一般	2023年5月16日：web資産 2024年1月28日：web審査	1名 3名	1名 3名	1名 3名
一般合計		4名	4名	4名
課程認定校 (5校)	各学校の学内審査により実施	38名	29名	29名
				33名

参考：2022(令和4)年度

区分	審査会期日・会場	受験者数	合格者数	登録者数
一般	2022年9月29日：web審査	2名	2名	2名
一般合計		2名	2名	2名
課程認定校 (10校)	各学校の学内審査により実施	54名	51名	51名
				53名

## 2. 指導者の活動支援と地域組織支援

### (1) レクリエーション・インストラクタースキルアップ制度の整備

#### ①制度の周知及び昇級促進

ホームページや解説動画、レクルーの記事を活用し、制度の周知と昇級への意欲を高める情報発信を行った。また、都道府県レク協会へも定期的に情報を発信し、スキルアップの促進、学びの場や活躍の場の提供などの公認指導者支援について協力を呼びかけた。

#### ②上級レクリエーション・インストラクター制度の整備

認定要件、審査内容（方法）、評価の視点を整え、ホームページやレクルーの記事で情報発信をした。また、昇級希望者へのガイダンス動画を作成し、制度や現行カリキュラムを確認することにより、昇級審査に進みやすい環境づくりをした。

#### ③準上級レクリエーション・インストラクター認定講習及び審査会

認定講習及び審査会を東京と大阪で開催し、昇級申請者 23 名中 16 名が受験した。事前準備と審査対策のための研修会実施と併せ、昨年度に引き続き、準上級への昇級審査 1 期目であるため、不合格者への追試を実施し、合計 13 名が合格した。

○令和 5 年 10 月 21 日（土）国立オリンピック記念青少年総合センター

・合格者 10 名（うち追審査合格者 2 名）

○令和 5 年 11 月 11 日（土）新大阪丸ビル新館

・合格者 3 名（うち追審査合格者 2 名）

#### ④講師トレーニング

準上級レク・インストラクター認定の要件となる講師トレーニングを全国 3 会場（東京、仙台、愛媛）とオンラインで実施し、41 名が受講した。講師力の向上に向けた事前課題を設定し、講師トレーニング当日の学習効果を高められるようにした。

・令和 5 年 5 月 14 日（日）国立オリンピック記念青少年総合センター：16 名

・令和 5 年 7 月 9 日（日）東京エレクトロンホール宮城：3 名

・令和 5 年 8 月 20 日（日）愛媛県民文化会館：4 名

・令和 6 年 2 月 24 日（土）オンライン：15 名

#### ⑤中級レクリエーション・インストラクターの審査・認定

準中級レク・インストラクター（2021 年度以前の昇給者）の審査を行い、179 名が中級に合格した。

### (2) 情報提供

#### ①「レクぼ」を活用した情報配信

レクルー記事を web 用に加工掲載することを中心として、更新やスキルアップの学習教材動画などの掲載を行った（2023 年度追加記事数 1,530 本）。

## ②「レクぼ」利用促進のための「レクぼ研修」の実施

都道府県レク協会で活動する公認指導者の「レクぼ」の利用を促進するために、4協会（福島県、兵庫県、愛媛県、鹿児島県）で利用方法等を伝える研修を行った。

## ③情報誌Recrew（レクルー）の発行

公認指導者をはじめレクリエーション活動に関わる人たちに向けて、役立つプログラムやノウハウ、用具等の情報を提供する情報誌 Recrew（レクルー）を6回発行した。

2023年度は、アフターコロナのレクリエーションや、コロナ禍で希薄になった人とのつながりに注目した特集などを掲載した。

号 別	特 集
2023年5月号	レクリエーション上手な先生になろう！
2023年7月号	リハビリ×レクリエーション
2023年9月号	アフターコロナのレクリエーション
2022年11月号	渦巻く熱気！全レクとくしま
2024年1月号	仲間っていいね！
2024年3月号	クラフト大好き！

## ④機関出版物の電子ライブラリー化「レクぼ」の月刊誌記事コンテンツの充実

これまで約700号発行した情報誌をはじめとして、協会が既に発行した出版物の電子ライブラリー化を目指して、コンテンツの整理を進めた。2023年度は、「レクぼ・レク広報誌」カテゴリーに1,527件の記事を掲載した。

## (3) 地域組織支援

### ①加盟団体運営代表者会議

都道府県レクリエーション協会、種目別加盟団体、加盟協力団体の運営代表者が集まり、レクリエーション運動の方向性や次年度に向けた課題について検討する会議を開催した。

本年度は対面で2日間開催し、全体会ではスポーツ庁から「Sport in Life等の取り組みについて」に関する説明等がされたほか、次年度の日本レクリエーション協会の基本方針及び重点施策を説明し、分科会にて新たに策定した中期計画について内容を共有した。

- ・期 日 2023年12月6日（水）、7日（木）
- ・会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター

### ②ブロック会議

レク運動を推進するための都道府県レク協会との連携・協働を図るため、ブロック会議を以下のとおり開催した。2023年度は、都道府県レク協会の現状把握結果を基に、組織体制支援の方向性を説明。今後の組織体制支援の方向性を検討した。また、全てのブロックで対面の会議を実施することができた。

ブロック名	日 程	開催地	幹事県
北海道・東北	6月18日(日)～19日(月)	福島市	福島県

関東・甲信越	6月30日(金)	オリンピックセンター	(日本レク協会)
東海・北陸	6月18日(日)	金沢市	石川県
近畿	6月16日(金)	大阪市	大阪府
中国・四国	6月23日(金)～24日(土)	山口市	山口県
九州・沖縄	6月17日(土)	福岡市	福岡県

### ③地域事業普及促進強化事業

都道府県レク協会の組織基盤強化と、普及啓発事業拡大のために、支援事業を行った。

#### (1)中期計画の策定

2022年度に都道府県レク協会と共有したミッション・ビジョンの実現に向け、都道府県レク協会の現状把握（組織の自己診断）を実施した。その結果をもとに都道府県レク協会の基本的な役割となる5つの事業を強化するための中期計画を策定した。

それぞれの事業の数値目標を掲げ、各協会の取り組みを促す支援策を明記し、「中期計画2024」として2024年度から取り組むこととした。

#### (2)若手人材育成支援

都道府県レク協会の組織運営を担う若手人材を育成するために、若手の公認指導者のグループづくりとその活動を支援するための助成を、18協会に行った。

・助成先：宮城県、群馬県、千葉県、神奈川県、富山県、福井県、長野県、岐阜県、三重県、兵庫県、岡山県、広島県、徳島県、香川県、愛媛県、長崎県、熊本県、宮崎県

#### (3)学校レクリエーションの普及

都道府県レク協会が行う教員のための研修を実施するための助成を4協会（千葉県、滋賀県、兵庫県、鹿児島県）に行った。実施県を核として、第77回全国レクリエーション大会の研究フォーラムにて、学校レク・ネットワーク再構築に向けたセッションを設け、次年度の栃木大会につなげることとした。

#### (4)都道府県レク協会の事務局支援

都道府県レク協会の事業を活性化するために、個別に都道府県レク協会を訪問し、意見交換を行うとともに、事務局不在時の電話対応代行などの支援や法人格取得に向けた情報提供を行った。また5協会（北海道、福島県、栃木県、長野県、長崎県）のホームページのリニューアル、維持・管理を支援した。

## (4) 公認指導者資格の更新

### ① 公認指導者資格の更新（2024年3月31日現在）

資格別	更新前人数	更新数	更新率
余暇開発士	222	189	85.14%
スポーツ・レクリエーション指導者	902	713	79.05%
レクリエーション・インストラクター	16,433	-	72.40%
準中級レクリエーション・インストラクター		9,689	
中級レクリエーション・インストラクター		705	
準上級レクリエーション・インストラクター		1,153	
上級レクリエーション・インストラクター		350	

福祉レクリエーション・ワーカー	1,430	1,203	84.13%
レクリエーション・コーディネーター	1,001	869	86.81%
のべ人数	19,988	14,871	74.40%

参考：公認指導者資格の更新（2023年3月31日現在）

資格名	更新対象者数	更新者数	更新率
余暇開発士	189	166	87.83%
スポーツ・レクリエーション指導者	738	675	91.46%
レクリエーション・インストラクター	17,917	-	73.51%
準中級レクリエーション・インストラクター		10,895	
中級レクリエーション・インストラクター		663	
準上級レクリエーション・インストラクター		1,226	
上級レクリエーション・インストラクター		387	
福祉レクリエーション・ワーカー	1,634	1,357	83.05%
レクリエーション・コーディネーター	1,039	927	89.22%
のべ人数	22,421	16,956	75.75%

②公認指導者数（2024年3月31日現在）

資格名	人数
スポーツ・レクリエーション指導者	2,199
レクリエーション・インストラクター	8,284
準中級レクリエーション・インストラクター	20,653
中級レクリエーション・インストラクター	1,364
準上級レクリエーション・インストラクター	2,388
上級レクリエーション・インストラクター	735
余暇開発士	354
レクリエーション・コーディネーター	1,852
福祉レクリエーション・ワーカー	2,701
のべ人数	40,530

参考：公認指導者数（2023年3月31日現在）

資格名	人数
スポーツ・レクリエーション指導者	2,177名
レクリエーション・インストラクター	8,952名
準中級レクリエーション・インストラクター	22,455名
中級レクリエーション・インストラクター	1,219名
準上級レクリエーション・インストラクター	2,512名
上級レクリエーション・インストラクター	787名
余暇開発士	388名
レクリエーション・コーディネーター	1,986名
福祉レクリエーション・ワーカー	2,899名
のべ人数	43,375名

### 3. レクリエーションの普及・啓発

#### (1) 全国イベント・啓発

##### ①第77回全国レクリエーション大会 2023in とくしま

「楽しさに 心おどる レクの渦 阿波の郷から 新たな旋風を」をスローガンに、第77回全国レクリエーション大会を徳島県で開催した。徳島県での開催は2回目。

3日間晴天に恵まれ、19のスポーツ・レクリエーション交流大会、27のセッションからなる研究フォーラム、市民の誰もがスポーツ・レクリエーション活動に参加できる特別行事等に全国から延べ10,708人が参加した。

- 主 催：公益財団法人日本レクリエーション協会、特定非営利活動法人徳島県レクリエーション協会、徳島県、徳島県教育委員会、徳島市、鳴門市、小松島市、阿南市、吉野川市、美馬市、石井町、北島町、藍住町、東みよし町、地域レクリエーション協会
- 共 催：スポーツ庁
- 後 援：総務省、環境省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、林野庁、人事院（一財）日本宝くじ協会、（公財）日本スポーツ協会、（公社）全国スポーツ推進委員連合、（社福）全国社会福祉協議会、（公財）健康・体力づくり事業財団、（公財）日本パラスポーツ協会 ほか
- 開催市町：徳島市、鳴門市、阿南市、小松島市、吉野川市、美馬市、石井町、北島町、松茂町、藍住町、東みよし町
- 期 日：2023年9月15日（金）～17日（日）
- 参加者：10,708名（3日間の延参加者）
- 内 容：「研究フォーラム」「スポーツ・レクリエーション交流大会」「開・閉会式」「特別行事」「協賛行事」

##### ②全国一斉「あそびの日」キャンペーン 2023

スポーツ庁の共催のもと、「あそび」を通して子どもたちを育み、家族のふれあい、地域の交流等を全国各地で促進するために、全国一斉「あそびの日」キャンペーン 2023（20回目）を開催した。

「あつまり、ふれあい、笑いあう」をサブタイトルとし、全国3,972のプログラムに合計160,539名が参加した。また、昨年に引き続き、自宅などから参加できる「おうちで60秒チャレンジ」をオンライン企画として実施し、228件の参加があった。

- サブタイトル あつまり、ふれあい、笑いあう
- 開催期間 2023年9月15日（金）～11月19日（日）
- 主 催 公益財団法人日本レクリエーション協会
- 共 催 スポーツ庁、都道府県レクリエーション協会、一般財団法人日本ユースホステル協会、一般財団法人休暇村協会、一般財団法人公園財団、独立行政法人国立青少年教育振興機構
- 全国後援 総務省、こども家庭庁、全国市長会、全国町村会、社会福祉法人全国社会福祉協議会、公益財団法人日本パラスポーツ協会

### ③ウェブサイト等を活用した情報配信

各種事業の速やかな発信に努めるとともに、2023年度は公認指導養成講習会などの関連情報の発信に力点を入れた。また、2023年度は3道県協会のホームページのリニューアル、運用支援を行った。その他、メールでの情報配信サービスを対象別に配信することや、SNS（フェイスブック、ツイッター）を活用した情報配信等も実施した。

#### (1)ウェブサイト

- ・協会サイト recreation.or.jp 閲覧数：405,182PV 訪問者数：214,545人
- ・レクリエーション情報サイト“レクぼ” recreation.jp  
閲覧数：2,393,576PV 訪問者数：405,046人
- ・レクリエーション・カタログ shop.recreation.jp  
閲覧数：254,794PV 訪問者数：41,435人
- ・健康スポーツ促進サイト”ケンスポコム” kenko.sportscom.jp
- ・レクリエーション資格紹介サイト shikaku.recreation.jp
- ・公認指導者サイト mem.recreation.or.jp
- ・講師派遣サイト kensyu.recreation.or.jp
- ・あそびの日サイト asobi.recreation.jp
- ・子供の体力向上ホームページ kodomo.recreation.or.jp
- ・課程認定校サイト recschoolstart.recreation.or.jp
- ・スポーツテンカサイト sportstenka.com

#### (2)メールマガジン

- ・公認指導者向け レクマガ（月2回配信）
- ・レクリエーション・サポーター向け ピアサポ（月2回配信）

#### (3)SNS 配信

フェイスブック、ツイッター、インスタグラム：月2～4回配信

#### (4)都道府県レクリエーション協会 web サイト支援

2023年度、北海道、栃木県、長崎県協会の web サイトを移転リニューアル運用した。また福島県、長野県協会 web サイトの運用保守を行った。

## (2) 生涯スポーツ推進及びその他レク普及

### ①「健康スポレクひろば」普及推進事業

普段運動をしていない高齢者（スポーツ未実施者）に参加を促し、スポーツ・レクリエーション活動を通じた健康づくりを行う「健康スポレクひろば」普及推進事業を58地区で実施した。全国で689回のプログラムが実施され、延べ11,380人が参加した。

#### ・実施地区（58地区）

宮城県仙台市、埼玉県上尾市（2地区）、千葉県千葉市・袖ヶ浦市、東京都中央区、新潟県上越市（2地区）・新潟市（7地区）・佐渡市・阿賀野市（2地区）・柏崎市、富山県富山市（2地区）、福井県坂井市・鯖江市・福井市（3地区）、愛知県長久手市、兵庫県神戸市・淡路市・明石市、島根県松江市、山口県宇部市（4地区）・下関市（2地区）・岩国市・山口市（2地区）・山陽小野田市・周南市・防府市、愛媛県西予市、高知県高知市、佐賀県武雄市、熊本県熊本市（2地区）・山鹿市（2地区）・菊池市・八代市（2地区）、福岡県北九州市（4地区）、福岡県みやま市

## ②スポレクEXPO～健康スポーツ・フェスティバル～

子どもから高齢者、障がい者など幅広く市民を対象に、多様なスポーツ・レクリエーション種目の体験と交流の機会を提供する「スポレクEXPO」～健康スポーツ・フェスティバル～を実施した。2023年度は、全国20会場で合計37回実施され、32,904名が参加した。

・実施会場（委任先）

実施団体	実施期間	参加者数
青森県レクリエーション協会	2023年10月1日	195名
岩手県レクリエーション協会	2023年9月16、17日	2,060名
福島県レクリエーション協会	2023年8月27日～10月15日	1,553名
栃木県レクリエーション協会	2023年9月2日	3,340名
群馬県レクリエーション協会	2023年8月11日	1,586名
新潟県レクリエーション協会	2023年10月14、15日	1,665名
長野県レクリエーション協会	2023年7月17日～10月15日	1,348名
愛知県レクリエーション協会	2023年11月3日	596名
三重県レクリエーション協会	2023年10月1日	640名
京都府レクリエーション協会	2023年11月25日	6,000名
兵庫県レクリエーション協会	2023年10月8日、12月4日	3,700名
岡山県レクリエーション協会	2023年9月18日	1,357名
山口県レクリエーション協会	2023年6月18日～8月20日	257名
高知県レクリエーション協会	2023年10月8日～11月21日	725名
埼玉県レクリエーション大会実行委員会	2023年10月22日	1,500名
福島市レクリエーション協会	2023年5月4日	1,362名
狭山市レクリエーション協会	2023年11月19日	588名
茂原市レクリエーション協会	2023年11月5日	479名
UEKI・レクリエーション協会	2023年10月1、9日	3,617名
青森県ウオーキング協会	2023年7月29日	336名

## ③健康スポーツ活動応援サイト「ケンスポコム」の運用

スポーツ・レクリエーション団体の個人情報管理および教室やイベント等の集客活動等の支援を行う情報サービスとして開発した「ケンスポコム」を運用した。2023年度は日本インディアカ協会の会員管理を移管し、会員更新処理の運用支援を行った。また、全国レクリエーション大会の参加申し込みについて、主に研究フォーラムの申し込み決済システムとしてケンスポコムを運用した。

## ④健康スポーツを推進するためのコンテンツの制作・配信

健康スポーツへの関心や参加を促すための動画コンテンツを制作し、「レクぽ」及び「ケンスポコム」を通じて配信した。2023年度は下記のコンテンツを制作した。

ペア・リング・キャッチ/ロープ・ジャンプ・X/チームテンカボール/チームふらば～る  
ボール/スピード・ラダーゲッター/ニチレクボール・チャレンジ/手のひら健康バレー2  
分間勝負/ネット・パス・ラリー/ゴム・ダンス・” ステッピョン” /キャッチング・ザ・  
スティック/チャレンジ・ザ・ゲーム/チャレンジ・ザ・ゲーム～学校教育編～



## ⑤全国いつでもチャレンジ・ザ・ゲーム大会

年間を通して、いつでも、どこでも、誰でも参加することができる「全国いつでもチャレンジ・ザ・ゲーム大会」を開催し、合計 1,013 件（前年度 692 件）の記録が認定された。

また、チャレンジ・ザ・ゲームの主な対象となる小学生への更なる普及に向けて、「チャレンジ・ザ・ゲーム普及審判員活動助成」を実施し、新潟県と富山県、島根県の小学校 6 校で合計 20 回の記録会を行い、延べ 440 名の児童が参加した。さらに新潟県では、中学校の体育の授業でチャレンジ・ザ・ゲームが取り上げられ、全校生徒 814 名が 3 種目にチャレンジした。

## ⑥受託研修、講師派遣等によるレクリエーションの普及

### (1)心の元気づくり 365 プロジェクト

今年度も継続して、レクリエーションを広く普及するために無償で講師を派遣するキャンペーン事業を実施し、レクリエーション体験及びレクリエーション研修プログラムを提供した。今年度より都道府県レク協会（各 5 件上限）の活用枠を設けたほか、文部科学省の土曜学習応援団プログラムにも講師を派遣した。

プログラム名	実施件数	
KOKO プロ 365	日本レク協会受付分	3 件（内 研修 2、体験 1）
	実施都道府県協会数：13 協会	32 件（内 研修 16、体験 16）
土曜学習応援団	千葉県、東京都、大阪府、沖縄県	4 件

### (2)研修会等への講師派遣

首都圏を中心に、行政機関、社会福祉協議会、高齢者施設、青少年育成団体等からのレクリエーション研修の依頼に対し、講師を派遣した。

領域	依頼先	件数
高齢者福祉（介護予防等）	行政機関、社会福祉協議会、高齢者大学、団体、外国人支援組織	11
青少年育成	行政機関、青少年育成団体	8
保育・子育て支援	保育園協会、保育施設	4
学校	専門学校、看護学校	3
スポーツ・レクリエーション	行政機関、スポーツクラブ	2
その他	県レクリエーション協会	1

## ⑦ウェブ研修コンテンツの制作・配信

介護職員、小学校教諭、障がい児にかかわる人を対象としたオンライン研修をそれぞれ 3 回シリーズで実施し、のべ 188 名が参加した。

### (1)介護職員：『介護予防を目的としたレクリエーション支援研修』

- ・令和 5 年 10 月 5 日 コグニサイズを取り入れたレクリエーション支援
- ・令和 5 年 10 月 26 日 片麻痺やパーキンソン病のための転倒予防と安全な歩行訓練
- ・令和 5 年 11 月 9 日 安全安心な摂食嚥下および日常でできる訓練

## (2)小学校教諭：『教師の楽校』

- ・令和5年8月4日 レクリエーションによる人間関係づくり、良好な集団づくり
- ・令和5年8月6日 遊びが運動になるレクリエーションプログラム
- ・令和5年8月8日 レクリエーションを取り入れたグループワーク

## (3)障がい児にかかわる人：『発達が穏やかな子どもたちのためのレクリエーション支援』

- ・令和6年1月16日 発達が穏やかな子どもたちへの支援で大切なこと
- ・令和6年1月25日 リズム遊び 音楽を使って楽しむ
- ・令和6年2月1日 身体で表現するコミュニケーションゲーム

## ⑧おうちで60秒チャレンジ

コロナ禍において、自宅でできる運動あそびとして開発した「おうちで60秒チャレンジ」を継続展開し265件（前年度228件）の記録申請があった。

また、「子ども霞が関見学デー」ではスポーツ庁ブースで実施、全国一斉「あそびの日」キャンペーン2023と連動したコンテストなどの展開が図られた。

## ⑨第78回全国レクリエーション大会（2024年）プレ大会

2024年度に開催を予定している第78回全国レクリエーション大会の機運を高めるため、栃木県内にてプレ事業を実施した。

開催種目は6種目、合計1,154名の参加を得て開催し、2024年度開催のシミュレーションを行うとともに、宇都宮市を中心に広報活動を実施した。

## ⑩令和5年度「スポーツの日」中央記念行事

スポーツ庁やスポーツ関連団体と共に「令和5年度スポーツの日中央記念行事スポーツ祭り2023」を、ナショナル・トレーニング・センター（屋内トレーニングセンター・イースト）で開催した。「スポーツ庁長官によるセルフチェックと改善エクササイズ」等はyoutubeにてライブ配信を行った。

日本レク協会担当プログラムでは、「レッツ・チャレンジ！おもしろスポーツ」を実施。午前・午後の2部構成で各6種目、合計12種目団体が体験ブースを設置し、69組の親子が参加した。

- ・主催：スポーツ庁、独立行政法人日本スポーツ振興センター、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本レクリエーション協会、公益財団法人日本パラスポーツ協会
- ・期日：2023年10月9日（月・祝）
- ・WEBサイト公開期間：2023年10月1日（日）～10月31日（火）

## ⑪生涯スポーツ・体力づくり全国会議2024

スポーツ庁、関連団体と共に「生涯スポーツ・体力づくり全国会議2024-人・スポーツ・未来-」を愛媛県松山市にて実施した。

全体テーマ『Sport in Life』の実現を目指して、今、求められることのもと、全体会と5つの分科会を実施。この中で、スポーツ健康産業団体連合会と連携して第2分科会『スポーツは楽しい』を全ての人に～楽しいと感じる心のしくみに着目した運動未実施者へのアプローチ～の企画・運営を行った。また、協賛団体の展示に関する運営総括を担当した。

- ・主 催：スポーツ庁、生涯スポーツ・体力づくり全国会議実行委員会（公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本レクリエーション協会、公益財団法人日本スポーツ施設協会、公益財団法人スポーツ安全協会、公益社団法人全国スポーツ推進委員連合、公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会、公益財団法人日本パラスポーツ協会、公益財団法人健康・体力づくり事業財団、愛媛県）
- ・期 日：2024年2月9日（金）
- ・参加者：650名

#### ⑫笑顔 Again プロジェクト「能登レクサポート」

2024年1月1日に発災した能登半島地震の被災者の健康づくり、ストレス緩和に、レクリエーション活動を通して寄与するために支援活動を実施した。

1月9日から3月31日までの間に、七尾市及び志賀町の避難所等にて41回、金沢市の避難所にて10回、合計51回の支援活動が行われ、レクルー及びホームページに活動の様子を掲載した。

また、石川県レク協会及び七尾市レク協会の活動支援、ユニホーム・用具の提供、チャリティTシャツの販売、支援金の募集も行った。

## 4. スポーツ・レクリエーション用具・書籍の開発・普及

### ①レクリエーション・カタログ2023の作成

スポーツ・レクリエーション活動を効果的に実施するための用具・書籍を紹介するレクリエーション・カタログ2023を作成した。約2万部を発行し、全国の福祉施設、関連機関・団体へ配布した。

### ②ウェブサイト：レクリエーション・カタログの運用

レク・カタログのウェブサイト運営を行った。用具・書籍購入のウェブ利用を促進するために、前年度に引き続きウェブ割引を実施し、一般的な利用率は6割を超えた。

○アクセス評価：閲覧数：254,794PV 訪問者数：41,435人

2022年度：258,580PV 訪問者数：36,153人

### ③オリジナル用具の開発

健康づくりの現場や高齢者施設等で活用しやすい用具の開発に取り組み、2024年度に販売することになった。また、インディアカ・ボールや「ふらば〜る」等の既存用具の品質向上を目指したリニューアルも進めた。

現場での活用を進めていくことが課題

## 5. その他 法人事務

### ①生涯スポーツ功労者表彰（文部科学大臣表彰）

地域におけるスポーツ・レクリエーションの健全な普及及び発展に貢献し、功績顕著なレクリエーション公認指導者を日本レクリエーション協会が推薦し、下記の方々が生涯スポーツ功労者として認められ、文部科学大臣より表彰された。

- ・矢野 美恵 氏 岩見沢太極拳協会会長等
- ・山崎 千恵美 氏 福井県レクリエーション協会理事等
- ・佐脇 重喜 氏 一般社団法人三重県レクリエーション協会常務理事等
- ・森 恵美 氏 武雄市レクリエーション協会会長等
- ・頼住 道夫 氏 特定非営利活動法人日本ティーボール協会専務理事等
- ・福田 真理子 氏 日本民踊愛好団体あずま会民踊指導者等
- ・湯川 恵子 氏 東京都福祉レクリエーション・ネットワーク理事等
- ・山本 肇 氏 岡山県キンボールスポーツ連盟会長等
- ・武村 義政 氏 宮崎市レクリエーション協会会長等
- ・清水 学 氏 一般社団法人日本キンボールスポーツ連盟理事等

### ②内閣府エイジレス・ライフ実践事例「エイジレス章」

内閣府が、65歳以上で自由にいきいきとした生活（「エイジレス・ライフ」）を送ることを積極的に行っている高齢者や団体などを広く紹介する「エイジレス章」と「社会参加章」に推薦をし、下記の都道府県レク協会関係者・団体が受章した。

- ・エイジレス章：千葉 良雄 さん（青森県レクリエーション協会）  
山根 良雄 さん（島根県レクリエーション協会）
- ・社会参加章：むつ・下北地区レクリエーション協会（青森県）

### ③レクリエーション運動普及振興功労者表彰（理事長表彰）

レクリエーション運動の普及・発展に多大なる功績をあげた者を、加盟団体より推薦を受け77名、2団体、2校を表彰した。

○受賞者	都道府県レクリエーション協会推薦	67名
	種目・協力加盟団体推薦による推薦	10名
	市町村レクリエーション協会	2団体
	課程認定校	2校

### ④レクリエーション公認指導者優秀学生表彰

課程認定校卒業時に、各認定校で最も優れた評価を得た学生を表彰する制度で、2023年度は69名を表彰した。

### ⑤理事会

- 第1回 2023（令和5）年5月24日（水）13：30～15：30  
公益財団法人 日本レクリエーション協会 会議室（オンライン会議併用）
  - ・2022（令和4）年度事業報告(案)について
  - ・2022（令和4）年度収支決算(案)について

- ・第79回全国レクリエーション大会の開催について
  - ・種目別加盟団体審査基準の改定について
  - ・種目別加盟団体の審査について
  - ・評議員選定委員会外部委員の選任について
  - ・2023（令和5）年度定時評議員会の招集について
- 第2回 2023（令和5）年6月14日（水）16：00～17：00  
国立オリンピック記念青少年総合センター会議室
- ・理事長の選任について
  - ・専務理事、常務理事の選任について
  - ・常勤理事の報酬について
- 第3回 2024（令和6）年3月14日 14：00～15：30  
公益財団法人 日本レクリエーション協会 会議室（オンライン会議併用）
- ・2024（令和6）年度事業計画（案）について
  - ・2024（令和6）年度収支予算（案）について
  - ・2024（令和6）年度借入金限度額について

#### ⑥評議員会

- 定時評議員会 2023（令和5）年6月14日（水）14：00～15：30  
国立オリンピック記念青少年総合センター（オンライン会議併用）
- ・2022年度収支決算報告（案）について
  - ・理事及び監事の選任について

#### ⑦会計管理、人事労務管理システムの導入

2023年度より導入されたインボイス制度および電子帳簿保存法に対応するために情報処理システムを変更した。また、東京都IT補助金を活用し、人事労務管理システムを新たに導入した。

#### ⑧一般社団法人日本インディアカ協会事務局運営支援

2021年度2月に事務局を日本レクリエーション協会に移転後、一般社団法人日本インディアカ協会の事務局運営を支援した。

- ・協会運営の支援（2023年度スポーツ振興センター活動助成受託及び翌年度申請支援）
- ・ホームページ等の管理・運用
- ・ケンスポコムサイトへの管理移転に関する技術支援等

[都道府県別公認指導者一覧] (令和6年3月31日現在)

所属協会	人数	インストラクター	準中級	中級	準上級	上級	スポレク指導者	余暇開発士	レクコーディネーター	福祉レクワーカー	延べ数
1 北海道	1,521	487	869	64	57	31	241	2	73	37	1,861
2 青森県	563	130	369	17	30	8	17	0	13	39	623
3 岩手県	633	134	412	18	50	14	24	3	28	47	730
4 宮城県	1,075	332	587	48	49	24	51	4	73	100	1,268
5 秋田県	311	25	230	14	14	17	18	2	22	21	363
6 山形県	273	43	151	8	16	6	0	1	12	65	302
7 福島県	830	139	571	35	42	14	61	3	33	67	965
8 茨城県	632	124	386	18	52	18	15	5	26	90	734
9 栃木県	863	302	436	31	69	14	21	2	28	87	990
10 群馬県	939	434	431	14	46	4	13	4	15	48	1,009
11 埼玉県	878	118	610	54	67	13	44	13	44	57	1,020
12 千葉県	1,138	339	648	38	75	14	47	23	58	52	1,294
13 神奈川県	987	174	652	46	55	30	37	31	63	47	1,135
14 東京都	2,160	496	1,118	106	149	72	248	43	124	144	2,500
15 新潟県	1,313	388	602	29	153	26	86	33	112	190	1,619
16 富山県	405	92	269	6	22	11	21	5	21	24	471
17 石川県	205	5	151	14	26	3	25	2	20	23	269
18 福井県	444	146	213	7	53	15	23	2	34	111	604
19 山梨県	212	73	115	10	11	1	15	0	5	9	239
20 長野県	573	61	418	33	43	4	47	1	40	41	688
21 岐阜県	850	211	506	45	56	19	68	5	48	49	1,007
22 静岡県	914	101	601	43	94	16	59	9	50	126	1,099
23 愛知県	1,755	589	903	70	107	45	115	8	105	102	2,044
24 三重県	660	120	427	28	48	22	5	3	49	59	761
25 滋賀県	232	24	159	13	20	10	5	4	22	18	275
26 京都府	534	149	294	31	39	14	19	2	40	35	623
27 大阪府	1,543	369	934	70	97	28	74	19	118	91	1,800
28 兵庫県	1,413	322	886	60	81	21	119	29	54	109	1,681
29 奈良県	157	44	90	8	8	2	31	5	11	7	206
30 和歌山県	180	0	147	9	9	11	2	1	12	12	203
31 鳥取県	237	36	156	9	27	5	20	3	11	28	295
32 島根県	449	97	296	14	31	4	9	2	20	21	494
33 岡山県	698	106	435	20	107	18	7	7	48	103	851
34 広島県	1,091	190	672	51	88	30	33	17	66	144	1,291
35 山口県	754	192	464	20	63	9	47	7	31	58	891
36 徳島県	530	162	305	19	20	7	155	3	9	34	714
37 香川県	510	120	358	14	13	1	16	4	6	15	547
38 愛媛県	595	124	400	27	31	3	37	3	13	36	674
39 高知県	377	85	265	9	10	5	14	0	11	11	410
40 福岡県	1,510	473	857	48	77	31	24	21	85	57	1,673
41 佐賀県	310	64	192	8	40	5	27	3	6	43	388
42 長崎県	514	68	382	26	22	14	23	1	20	24	580
43 熊本県	385	62	275	14	26	6	46	1	16	24	470
44 大分県	516	128	309	25	34	11	29	4	26	42	608
45 宮崎県	371	33	277	21	22	17	53	3	22	21	469
46 鹿児島県	816	189	466	30	93	21	38	9	60	103	1,009
47 沖縄県	495	160	271	11	32	13	64	2	31	24	608
48 北九州市	145	24	88	11	14	8	6	0	18	6	175
合 計	34,496	8,284	20,653	1,364	2,388	735	2,199	354	1,852	2,701	40,530

## 2023（令和5）年度事業報告 附属明細書

2023（令和5）年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2024（令和6）年6月  
公益財団法人日本レクリエーション協会